

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成 18 年 4 月 6 日 (2006.4.6)

【公表番号】特表 2005-538690 (P2005-538690A)

【公表日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【年通号数】公開・登録公報 2005-050

【出願番号】特願 2003-571309 (P2003-571309)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

A 6 1 K 39/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

C 0 7 K 14/47 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

A 6 1 K 39/00 H

A 6 1 P 35/00

C 0 7 K 14/47

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 2 月 20 日 (2006.2.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

配列番号 1 のアミノ酸配列を有するマウス P T X 3 誘導体。

【請求項 2】

配列番号 2 のアミノ酸配列を有するマウス P T X 3 誘導体。

【請求項 3】

配列番号 3 のアミノ酸配列を有するヒト P T X 3 誘導体。

【請求項 4】

配列番号 4 のアミノ酸配列を有するヒト P T X 3 誘導体。

【請求項 5】

配列番号 5 のアミノ酸配列を有するビオチン化マウス P T X 3 誘導体。

【請求項 6】

配列番号 6 のアミノ酸配列を有するビオチン化ヒト P T X 3 誘導体。

【請求項 7】

配列番号 7 の配列を有するマウス P T X 3 c D N A。

【請求項 8】

配列番号 8 の配列を有するマウス P T X 3 c D N A。

【請求項 9】

請求項 1 から 6 のいずれかの P T X 3 誘導体をその表面に担持する固形または血液腫瘍の不活化腫瘍細胞を含有する自己ワクチン。

【請求項 10】

さらにアジュバントを含む請求項 9 のワクチン。

【請求項 11】

以下の工程からなる自己ワクチンの調製方法：

- 固形または血液腫瘍を患う患者から腫瘍細胞（１０００万 - １億）サンプルを採取する工程；
- 腫瘍細胞を、インビトロで不活化し、その増殖能力を抑制する工程；
- 脂質キレート化剤 N T A - D O G S のリポソームで不活化腫瘍細胞を処理する工程；
- さらに腫瘍細胞を配列番号 1、2、3 または 4 のアミノ酸配列を有する P T X 3 誘導体（50 - 500 μ g / ml）で処理して、該 P T X 3 誘導体を腫瘍細胞の膜に結合させる工程。

【請求項 12】

以下の工程からなる自己ワクチンの調製方法：

- 固形または血液腫瘍を患う患者から腫瘍細胞（１０００万 - １億）サンプルを採取する工程；
- 腫瘍細胞を、インビトロで不活化し、その増殖能力を抑制する工程；
- 100 - 1000 ピオチン / 細胞にて不活化腫瘍細胞をピオチン化し、それをアビジンとともにインキュベーションする工程；
- 配列番号 5 または 6 のアミノ酸配列を有するピオチン化 P T X 3 誘導体（50 - 500 μ g / ml）を先の工程の腫瘍細胞の膜に結合させる工程。

【請求項 13】

固形または血液腫瘍の不活化腫瘍細胞表面に結合した、請求項 1 から 6 のいずれかの誘導体を含む、皮下、静脈内、リンパ節内またはその他の経路によって投与できる腫瘍治療用の自己ワクチン。

【請求項 14】

皮下、静脈内、リンパ節内またはその他の経路によって投与できる請求項 9 または 10 のワクチンを含む腫瘍治療用組成物。

【請求項 15】

皮下、静脈内またはリンパ節内経路によって投与できる請求項 11 または 12 の方法によって得られるワクチンを含む腫瘍治療用組成物。